## PHP新書「地震予報」読者の皆様へ 「№.1778 長期継続大型地震推定前兆変動」 原稿校了後の前兆変動変化についての続報

続報 № 360

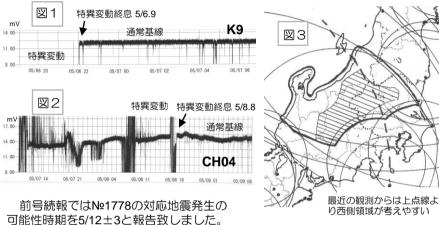
2024.05/09 (木曜) 18:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 電離層モニター観測所 代表:串田嘉男

Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、№1778前兆は29年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。№1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。№1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様に№1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。本年1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましても、2023年12月31日の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。№1778に関しては解説資料の32頁~35頁を参照下さい。

## 対応地震発生推定日=5月13日±2の可能性へ修正



## №1778 長期継続前兆変動から推定される内容

- ●推定領域:右図3の太線領域内=大枠推定域 ※図3斜線領域=可能性が考えやすい推定領域 震源域が火山近傍である可能性高い
- ●推定規模: M8.0±0.3 地震発生に伴い近隣火山の噴火活動が生じる 可能性も否定困難
- ●推定発生:2024年 5月13日±2日 ※但し今後の観測で上記を否定する変動が出現 の場合は修正予定
- ●推定地震種:震源浅い陸域の地殻地震
- ●推定発生時刻:午前 9時±2 or 午後 6時±3

№1778の別形態多段ステージ前兆の第11ステージの極大 4/21.1に対し、前兆変動終息が図1及び図2のとおり観測されました。 4/21.1極大~5/8.8終息の関係をTmap:Tpp=3.9:1経験則で計算しますと5/14±3発生の可能性が出ます。№358で示した推定発生時期 算出変動関係で2022~2023年からの長い関係では5/9±3~5/11±3等が算出されますが、最近の変動関係からは5/11±3~5/15±3 が算出されています。最近の変動関係期間の短いものを重視しますと、推定発生時期は5/13±2の可能性が考えやすく修正させて頂きます。5/13~5/15発生の可能性考えやすい。

まだ継続出現している変動がありますが、5/11±1時期に終息が推定されるものと、不明変動があります。№1778は29年間の観測歴上最も難解な変動で、何度も発生時期が推定されては、その時期に次ステージ前兆の極大が出現するなどを繰り返して参りました。今回5/13±2で発生となるか、まだ前兆変動が継続し、より先になるかは5/16時期までわかりません。5/16までに対応地震が発生せず、前兆変動が継続した場合はその後を観測して続報させて頂きます。

## 火山噴火型前兆変動観測 関連ある場合対応地震発生に伴い火山噴火の可能性も有

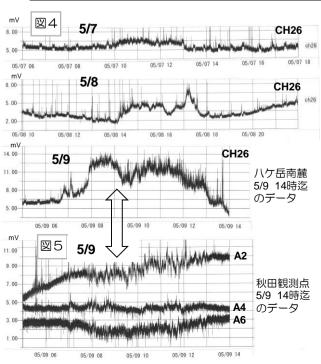


図4及び図5のとおり、 火山噴火型前兆変動が観測 されています。図4の八ヶ時 のCH26に5/7から微弱に出現 しだし、5/8は明確。5/9本 日は顕著です。5/8以前は確 認できませんが、5/9は秋田 観測点の3観測装置にCH26 と時刻同期で噴火型変動が出 見しています。噴火型変動が出 1日だけの出現では火山近傍 での地震活動と対応が認めら れますが、複数日出ます。明可能 は噴火活動に至ります。明可能 は噴火活動に至りますが、仮に本日極大

草津白根山 図6 妙高山人 那須岳 高原山 焼岳 アカンダナ川 男体川 乗鞍山 日光白根山 赤城山 白川 棒名川 伊豆大島 新鳥 神津島 富士山 箱根山 伊豆東部火山群

性もありますが、仮に本日極大の場合は、過去例を参考に5/14±2または5/16±3に火山噴火の可能性も否定できません。八ヶ岳南麓が強く、秋田観測点に弱くても観測されていることから、図6の円内火山でもA弧以北の火山の可能性が考えやすい。当該領域は№1778の推定領域と重複しますため、№1778の地震活動と関連がある可能性が考えやすい。№1778の対応地震発生と関連して近隣の火山で噴火活動が生じる可能性は否定できません。但し、昨年噴火型変動で地震前兆の極大が観測されていますので、必ず噴火活動に至るとは断定困難です。しかし否定はできませんので、報告させて頂きました。

C) Copyright 2024 YSBO 八ヶ岳南麓天文台